

大飯原発 4 号機再稼働反対全国集会開催

関電本店包囲に 700 人、御堂筋 90 分のデモ

ご参加、ご支援ありがとうございました。

4月22日、大阪中之島の関電本店前には大飯原発4号機再稼働を画策する関西電力への怒りの声が結集しました。色とりどりの旗やノボリ、プラカードであふれ、700人の参加、15万円を超えるカンパが寄せられ、大阪御堂筋90分のデモ行進でアピールしました。

主催したのは「オール福井反原発連絡会」、「若狭の原発を考える会」、「ふるさとを守る高浜、おおいの会」の呼びかけで、昨年8月に結成された「大飯原発うごかすな！実行委員会」です。主催者挨拶に立った「原子力発電に反対する福井県民会議」の中島哲演代表は、「関電のみならず国会も大包围しよう」と訴えました。

続いて、「再稼働阻止全国ネット」、福井県大熊町・木幡ますみ町議（ご子息からメッセージ紹介）、「原発さよなら四国ネットワーク」、「ストップ川内原発！3.11鹿児島県実行委員会」、「さよなら原発1000万人アクション（原水禁国民会議・藤本泰成事務局長）」から挨拶があり、大間原発、柏崎刈羽原発、東海第二原発、上関原発、玄海原発の現地から寄せられた原発稼働反対、再稼働反対あるいは建設反対の文書メッセージが紹介されました。

その後、法廷闘争に頑張る「福井から原発を止める裁判の会」、「原発賠償京都訴訟原告団」、「大飯原発3.4号機運転差止仮処分申立人」から報告と訴えを戴きました。また、福井県おおい町・猿橋巧町議から反原発議員がおおい町議会でゼロから1人へ、美浜町議会で1人から3人に拡大したとの報告を受けました。

関西からは、「ストップ・ザ・もんじゅ」と「原発ゼロの会・大阪」、「さよなら原発神戸アクション」、「さよなら原発なら県ネット」からの発言を戴きました。

さらに、「反原発自治体議員・市民連盟関西ブロック」の会員であり、森友学園問題を初めて追及された木村真・豊中市議が、「議会では反原発は少数だが、市民の多数は原発反対だ。市民の常識に原発再稼働はあり得ない。まともな世論を反映させるため頑張ろう」と決意を表明されました。

労組からは、「おおさかユニオンネットワーク」の丹羽

通晴さんより、「きのう尼崎事故の集会を開いたが、企業体質が変わらない。企業の監視をする労組の役割強化を」とのアピールを戴き、「釜ヶ崎日雇労働組合の」三浦俊一副委員長より、「ホームレス自立支援法施行で4~5万人の人々を原発が狙った。現在、若い非正規労働者が狙われている。その若者の未来のために原発を止める」との決意表明を戴きました。

「さいなら原発・びわこネットワーク」の中井正子さんの提案で下記の集会決議を採択し、閉会挨拶に立った木原壮林・「若狭の原発を考える会」代表が、5月9日ともいわれる大飯原発4号機再稼働現地闘争への結集を訴えました。

集会後、大阪御堂筋の90分デモに参加者一同繰り出し、「大飯原発うごかすな！」「原発うごかす総理はいらない！」と市民に訴えました。（「さいなら原発・びわこネットワークニュース」を改変）



2018年4月23日朝日新聞朝刊

4.22 大飯原発うごかすな！関電包囲全国集会決議文

大飯原発再稼働の策動を糾弾し、原発全廃を求める！

福島原発事故から7年が過ぎましたが、この事故は、原発が重大事故を起こせば、人の命と尊厳を奪い、職場を奪い、農地を奪い、海を奪い、生活基盤を奪い去ることを、大きな犠牲の上に教えました。

一方、福島事故以降の経験によって、原発は無くても何の支障もないことが実証されました。そのため、今、脱原発、反原発は圧倒的な民意となっています。

それでも、関西電力や政府は、原子力規制委員長までもが「安全を保証するものではない」と言う“新規制基準”に適合したことを拠り所にして、高浜原発3、4号機、大飯原発3号機を再稼働させ、来月にも大飯原発4号機を再稼働させようとしています。脱原発、反原発の民意を蹂躪（じゅうりん）し、彼らの利己的利益のために、人の命と尊厳をないがしろにするものです。また、脱原発に向かう、世界の潮流に逆らうものです。

原発重大事故によって放出された放射性物質は極めて広範囲に広がります。福島事故でも、約50km離れた飯舘村も全村避難になり、約200km離れた関東にも高濃度の放射性物質が降下しました。避難計画や原発稼働への同意などでは、30km圏内が対象とされますが、被害は30kmをはるかに超えて広域におよびます。

若狭の原発が重大事故を起こせば、若狭はもとより、関西、中部も高濃度放射性物質で汚染される可能性があります。京都駅、大津駅は大飯原発、高浜原発から60数km、大阪駅は80数kmの位置にあります。250万人が住む京都府、150万人が住む滋賀県のほぼ全域、大阪府や兵庫県の多くの部分が100km圏内にあり、この全域からの避難が不可能であることは自明です。琵琶湖の汚染は、関西1,450万人の飲用水を奪います。原発からの汚染水は日本海にたれ流されますが、日本海は太平洋に比べて比較にならないほど狭い閉鎖海域ですから、高濃度に汚染されます。

私たちは、重大事故を起こせば極めて広範な地域の住民に塗炭（とたん）の苦しみを与え、使用済み核燃料や核廃棄物などの人類の手におえない負の遺産を子々孫々にまで残す原発の再稼働を座視することはできません。

本集会の参加者一同は、電力会社や政府を震え上がらせるような反原発運動を高揚させ、「脱原発、反原発の民意を無視したら大変なことになる」ことを電力会社や政府に思い知らせ、あらゆる手段を駆使して、原発の再稼働を阻止し、原発全廃を勝ち取ることを決議します。

2018年4月22日

4.22 大飯原発うごかすな！関電包囲全国集会参加者一同

原発廃炉、原発からの撤退相次ぐ；脱原発、反原発世論の勝利

関西電力が昨年12月22日、老朽大飯原発1、2号機の廃炉を決定し、四国電力が本年3月27日、老朽伊方原発2号機の廃炉を決定しました。福島事故以降、福島第一原発を除いて、商業原発9機の廃炉が決定したことになります。

この廃炉は、福島原発大惨事の尊い犠牲を踏まえて形成された、脱原発、反原発の圧倒的民意を反映したものであり、脱原発、反原発の粘り強い大衆行動、裁判闘争の成果であろうと考えられます。圧倒的な民意に後押しされた大衆行動があり、裁判闘争があるからこそ、電力会社も多額の費用を要する安全対策を施さざるを得なくなり、老朽原発の廃炉を決意せざるを得なくなったのだと言えます。

一方、4月25日の報道は、伊藤忠商事が日本とトルコの両政府が推進するトルコの原発建設計画から撤退すると伝えています。福島事故によって原発事故の深刻さを実感した世界の人々が、脱原発、反原発の国際的世論を形成したため、原発を推進するにしても、多額の安全対策費を費やさざるを得なくなり、その結果、企業にとって採算が取れなくなり、原発事業からの撤退を余儀なくされたためです。これも、世界的な反原発の民意と原発反対運動の成果と言えます。

トルコ原発 伊藤忠撤退へ

事業費膨張 計画参画「困難」



伊藤忠商事が、三菱重工など計画するトルコの原発建設計画から撤退する方針を固めたことが24日わかった。同原発は日本、トルコの両政府が推進することと合意。伊藤忠は三菱重工と事業の採算性について調査していた。しかし安全対策費などで事業費がふくらみ、伊藤忠は採算が厳しいと判断した模様だ。

伊藤忠は当初、原子炉が入るプラントのコンサルや導入する設備、それに必要な資金調達のサポートなどで参画することを検討。事業化調査を支援してきた。しかし東京電力福島第一原発事故後に原発の安全対策費が膨らみ、2015年6月、同計画について「商社の機能や果たせる役割を勘案すれば、本事業への出資者としての参画は極めて困難である」と現時点で認識と見解を公表。今回、事業採算に関する調査の支援期間が3月中旬に満了したのを機に、撤退の方針を固めた。

同計画では、黒海沿岸のシノップ地区に原発4基を新設する。2013年に日本とトルコ政府が大筋合意した。三菱重工と仏企業が共同開発した新型炉を採用し、23年からの稼働をめざしている。

事業費は当初、4基で計2・1兆円程度とみられていた。関係者によると、資金の7割を借り入れて、3割を株式で調達する案があった。

勘案すれば、本事業への出資者としての参画は極めて困難である」と現時点で認識と見解を公表。今回、事業採算に関する調査の支援期間が3月中旬に満了したのを機に、撤退の方針を固めた。

同計画では、黒海沿岸のシノップ地区に原発4基を新設する。2013年に日本とトルコ政府が大筋合意した。三菱重工と仏企業が共同開発した新型炉を採用し、23年からの稼働をめざしている。

事業費は当初、4基で計2・1兆円程度とみられていた。関係者によると、資金の7割を借り入れて、3割を株式で調達する案があった。

2018年4月25日朝日新聞朝刊

り、持ち株比率は三菱重工、伊藤忠、仏企業が計51%、トルコの電力会社で49%が想定されていた。しかし事業化調査で、費用が総額4兆円以上にふくらむ見通しが判明していた。事業費は稼働後の発電事業による利益で回収する。事業費がふくらめば、高い料金で電気が売れないと採算割れしかねない。トルコ側は調査結果の見直しに反対し、三菱重工は3月までだった調査期限を7月まで延長した。

夢想だにしなかった朝鮮情勢の急展開、原発早期全廃も夢ではない！

ロウソク革命から、民主政権を誕生させ、平昌（ピョンチャン）オリンピック、本日（4月27日）の南北首脳会談を経て、南北朝鮮関係は融和から停戦、南統一に向かって、大車輪で動き始めました。この変化は、共和国（北朝鮮）の非核化、米朝会談へと発展する方向にあり、東アジアの緊張は雪解けを迎えつつあります。ほとんどの人々が、夢想だにしなかった変化です。韓国民衆の蜂起を契機に、世界の平和を妨げていた山は動き、風は変わりつつあります。この変化は、民衆の継続した闘争⇒蜂起の持つ力の大きさを世界の人々に再認識させました。また、民衆の継続した闘争は、契機が到来すれば、実を結ぶことも示しました。

原発をめぐる動きも、福島原発事故の大きな犠牲の上に、変わりました。いま、脱原発、反原発は民意となっています。この民意のゆえに、原発の安全対策費は高騰し、電力会社は老朽原発の廃炉を決意せざるを得なくなり、企業の原発事業からの撤退が相次いでいます。また、福井地裁、大津地裁、広島高裁での原発運転差し止め決定など司法での勝利（電力会社にとっては「司法リスク」）も格段に多くなっています。さらに進んで、民意の完全実行＝原発全廃を迫る民衆の蜂起が実現すれば、原発の早期全廃は必ず勝ち取れます。断固とした大衆行動に起ちましょう！

5月9日「大飯原発うごかすな！」 大飯原発までのデモとゲート前集會に大結集を！

関西電力は、昨年高浜原発3、4号機を再稼働させ、去る3月14日に大飯原発3号機を再稼働させ、5月9日に大飯原発4号機を再稼働させようとしています。重大事故が起これば、人の命、尊厳、生活基盤を奪い去る原発の再稼働を座視することはできません。

「大飯原発うごかすな！実行委員会」は、5月9日、おおい町現地で断固としたデモ行進と抗議行動を展開します。この行動は、原発再稼働に抗議するだけでなく、若狭に広範に存在する「原発NO」の声に呼応し、連帯するものです。若狭には表には出ていないけれども、極めて多数の「原発は嫌だ」の声があります。そのことは、去る2月25、26日に延べ220人が参加して行われた若狭湾岸一斉チラシ配布でも、参加者の多くが実感されています。

5月9日の大飯原発現地での抗議行動にぜひご参加ください。現地の「原発NO」の声に連帯し、政府や関電に「民意を無視したら大変なことになる」ことを思い知らせ、彼らの心胆を寒からせしめるような運動を高揚させ、原発全廃を勝ち取りましょう！

5月9日は、12時に、おおい町大島の塩浜海水浴場・シーサイドファミリーパーク（大島半島先端）に結集の後、デモ行進にて大飯原発ゲートに向かい、ゲート前で抗議行動を展開します。再稼働日はずれた場合も、5月9日の行動は行い、再稼働当日も連続行動として抗議行動を展開します。奮ってご参加ください。

主催：大飯原発うごかすな！実行委員会
【この実行委員会は、「オール福井反原発連絡会（原子力発電に反対する福井県民会議、サヨナラ原発福井ネットワーク、福井から原発を止める裁判の会、原発住民運動福井・嶺南センター、原発問題住民運動福井県連絡会で構成）」、「ふるさとを守る高浜・おおいの会」および「若狭の原発を考える会」の呼びかけによって昨年8月に結成されました。】
お問い合わせは右記まで。090-1965-7102（木原）、090-2741-7128（宮下）
本現地闘争への参加のために、大阪、京都、滋賀から配車します。乗車ご希望の方は、090-5676-7068 橋田まで。
カンパのお願い 「5.9おおい町現地デモ、ゲート前集會」は、手弁当で、準備・実施されます。経費のご支援を戴ければ幸いです。
カンパ振込先（郵便振り込み）：加入者名：若狭の原発を考える会；口座記号・番号：00930-9-313644
お振込みにあたっては、通信欄に「おおい町現地闘争へのカンパ」とお書きください。